

R.I.District 2670 高松南ロータリークラブ

2018年7月



# Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2018-2019

## インスピレーションになろう

RI会長：バリー・ラシン 会長：篠田日出海 幹事：多田耕三  
 例会場／JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30～13:30



## 特 報

### 2018-2019年度 高松南ロータリークラブ運営方針

#### 「奉仕活動に積極的参加を！」

高松南ロータリークラブ 2018-2019年度会長 篠田日出海

#### 1. はじめに

今年度高松南RC会長に選任されました篠田日出海でございます。

私は、2007年入会で今年11年目の会員歴となります。入会以前、“ロータリークラブ”の単語自体も知らず、入会後もロータリーが何かも解らず席を汚していました。入会4年目に幹事を拝命して“ロータリーが少し解った”積もりになりましたが、まだまだロータリー未熟なロータリアンですが、この度の重責に堪え、皆さんのご協力を請い、クラブ運営を行いたいと決意しています。

#### 2. 国際ロータリー (RI) テーマ

国際ロータリー 2018-19年度会長 バリー・ラシン (Barry Rassin) 氏 (イーストナッソーRC, パハマ ニュープロビデンス島) が掲げた当年度のテーマは、「インスピレーションになろう (Be The Inspiration)」です。このテーマを発表した米国サンディエゴでのロータリー国際協議会で、次期地区ガバナーに向けて、「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く、後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのです。」と説かれ、ロータリーの新しいビジョン声明では、「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」と謳っています。

そして、インスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動であり、この過去30年間に成し遂げた顕著な進展に触れて、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視するのと同様に、環境汚染や気候変動に対して、環境の持続可能性を守ることを強調しています。ロータリアンは、持続可能な活動成果をもたらし、世界をより良くしたいと願い、ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人々たち、あらゆる世代のために、ロータリアンに出来ることがあるとしています。

#### 3. 国際ロータリー第2670地区 (RID) 運営方針

RI2670地区2018-19年度 ガバナー 桑原征一 (新居浜RC) 氏は、地区の運営方針を「共に考え、共に行動しよう！」としました。桑原ガバナーは、RI会長のテーマにある“インスピレーション”の意味合いを、“動機づける”、“鼓舞する”、“精進する”と解釈しました。

それに連なり、クラブの事業やクラブのあり方については、メンバー全員で共に考えコンセンサスを心得て行動していただきたいとしています。

また、各クラブとRI2670地区との関係では、各クラブは地域の特性に応じた各種奉仕活動を積極的に展開して、大きな実績の積み上げを行っており敬意を表しています。これらと同様に地区も各種事業を展開し実績を上げているが、地区内全ロータリアンに周知されているのかの懸念を語られています。そして多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、各種の意義ある奉仕事業について、理解が出来てないのではと思っておられます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を支援し育てることにあるとしています。そして、RI2670地区と各クラブが共に考え、共に行動する関係が重要で、同様に国際ロータリーとクラブが共に行動して、補助金の活用等による事業を展開する可能性も示唆しています。ロータリー運動の根源は、クラブが自主性を持ち地域社会と共生することであるとしています。

#### 4. クラブ運営方針

RI会長テーマやRI2670地区ガバナーの運営方針を参考に、今年度の当クラブ運営方針を「奉仕活動に積極的参加を！」にします。

これは、ここ数年の歴代会長の運営方針 (下記) の延長線上にあると思っています。

2017-18年度 岡林正文会長「ロータリーをもっと楽しもう」

2016-17年度 前田恭典会長「誰もが自ら進んで例会に楽しく参加できるクラブにしよう」

2015-16年度 宮脇光男会長「もっと知ろうロータリー」

RIバリー・ラシン会長、RID2670桑原征一ガバナーが提唱されている“人びとが手を取り合って行動する”とか“共に考

## 特 報

え、共に行動する関係が重要”に有るように、また歴代当クラブ会長の運営方針にも共通している“ロータリアンが共に考え、共にロータリー活動をする”に通底していると思います。

ここで、当年運営方針にある「奉仕活動」とは何ぞや？と言う問があると思います。国語辞典によると『奉仕とは、利害を離れて国家や社会に尽くすこと』とあります。従って、私はロータリー活動の全てが「奉仕活動」であり、この奉仕活動により世界や社会の安寧に、また人々の幸せに貢献していると思っています。

奉仕活動（ロータリー活動）への積極的参加では、我がクラブが数十年継続的に実施している「高松養護学校夏季集中研修会運営協力品贈呈式」に於いて、従来、会長・幹事・職業奉仕委員長が参加していましたが、彼ら以外の多くの会員も参加して養護研修の実情を理解し、以降の支援に繋げることも奉仕活動の向上の一助になると思います。それぞれの担当奉仕委員会だけに任せるのではなく、会員が共に参加することが重要であると思っています。

また、高松中央RCが主宰で行われる香川第I分区の水資源保護活動「早明浦ダム上流 下草刈り」にも、会員の多くが参加されることを希望します。これには他クラブ会員との交流・知己を得る副次的効果もあります。同様に、「高松市主催の環境美化活動」へも多くの会員の積極的参加が望まれるところです。

我がクラブ長年の課題“例会出席率の向上”があります。会員の業務スケジュール等もあり、特効解決策は、なかなか見当たりませんが、各人の自覚に負うところが多いと思っています。他クラブやEクラブでのメイクアップによる出席も大事なことは勿論、他クラブ員との交流やそこの客話・卓話の内容吸収が自分にとって非常に有用なものになると確信しています。ちょっと意味合いは違いますが、「他人の飯を食う」のも新鮮なロータリーを感じることも成ります。

ここで、私が高校時代のラジオ番組のエピソードを紹介いたします。深夜ラジオ番組“心のともしび”と言うのがありました。どこかのキリスト教団体の提供だったと思いますが、番組冒頭に「暗いと不平を言うよりも、すすんで灯りを点けましょう」と言うフレーズがありました。非常に新鮮な言葉だと感動した思い出があります。ロータリークラブの運営には、不平を言う人は居られないと思いますが、ロータリアンが率先して社会に灯りを点け、共に考え、共に行動することが、「奉仕活動に積極的参加を！」に繋がると考えております。

これから1年間、多田耕三幹事、田村禎啓<sup>さだひろ</sup>SAAおよび各委員会の委員長とクラブ運営を担い、例会が待ち遠しいと期待され、また奉仕機会を提供出来るクラブになるよう努力する所存です。

会員皆さん方からのアドバイスと、ご協力・ご支援を切にお願い申し上げます。

### 幹事就任の挨拶

2018-2019年度 幹事 多田 耕三

この度、2018-19年度の幹事をさせていただくことになりました。

ロータリー歴は4年目と浅く未熟者ではありますが、折角のチャンスを活かせるよう精一杯頑張りたいと思います。篠田会長は国際色豊かで海外のロータリーの例会に出席されるなどとてもアクティブでボランティア精神を持っておられます。会長の掲げられた当クラブの運営方針「奉仕活動に積極的参加を！」を実行に移すべく、当クラブメンバーへの声かけやロータアクトメンバーなど広く奉仕活動への参加を促していきたいと思います。

心からの奉仕を実現し、利他の心で高松南RCを盛り立ていく一助となるよう頑張ります。やるからには、悔いのないように取り組むことを決意します。

### 会長退任の挨拶

2017-2018年度 会長 岡林 正文

昨年7月に会長に就任するにあたり本年度の当クラブの運営方針を「ロータリーをもっともっと楽しもう」とさせていただきました。そして、運営方針達成の重要なポイントが例会出席率の向上にあると認識し、皆さんにご協力をお願いしました。高島幹事が、毎回の例会で訴え続けてくれたおかげもあり、目標とした80%の出席率がほぼ達成できそうな状況です。

また、昨年8月の柳澤ガバナー公式訪問でガバナーから求められたのが会員増強でした。これについても新会員の勧誘が厳しい環境下、皆さんの積極的な声掛けにより、以下の8名の方々を当クラブの会員として迎えることができました。

中川一成さん（天照重量工業）、合田弘朗さん（合田工務店）、中村耕太郎さん（みんなの工務店）、堀一代さん（住友生命）、中村巖友さん（大和証券）、石井孝典さん（プルデンシャル生命）、新地良洋さん（㈱ムラカミ）、木村征司さん（生島興業・7月入会予定）

しかしながら一方、後任に引き継ぐことにより退会された森田紘一さん（合田工務店）、西田直貴さん（大和証券）、大和雅彦さん（住友生命）以外に岡部倫明さん（四国汽船）、十川好敏さん（高松センチュリーホテル）、和田節代さん（民事弁護士）が退会されることとなり、純増は2名に止まりました。

毎週の例会の卓話・客話もそれぞれ有意義で楽しいものでしたし、11月の高知での地区大会のあと「すごろく」という居酒屋で楽しんだ当クラブだけの懇親会も思い出に残るものでした。

このように、幹事の経験がなく、クラブ活動に積極的でもなかった私がなんとか1年を乗り切れたのは、高島幹事をはじめとする執行部メンバーのご支援と会員の皆さま全員のご理解があつてのことと理解しています。

1年間本当にありがとうございました。

ロータリーを存分に楽しませていただきました。

# 特 報

## 2017-2018年度 幹事報告

2017-2018年度 幹事 高島 秀樹

早いもので幹事を引き受けて、早や1年が経過しました。

年度初めの決意で、イヤイヤ事に当たるのではなく、自ら進んでもっともっと楽しくなる「ロータリアンの輪」を作り上げていくことを目標にしました。

最初は戸惑いましたが、前幹事からの例会に関する資料が有りましたので参考にしながら進めて参りました。

また、2016-2017年度、最後のクラブ協議会で太田PDGより出席率の悪さを指摘され、今年度は出席率を80.0%まで上げることも目標の一つとしました。

まずは、個人ごとの例会出欠状況、メイクアップ状況等の実績を取り、問題会員を個々に訪問・面談いたしました。最初は会員に嫌がられました、重要性を理解して頂けたと思います。

しかし、まだまだ出席の重要性を理解できていない会員、いや理解しようとしなない会員が多々いると思います。今後の課題として取り組まなければいけないと思います。

奉仕活動では「高松養護学校の夏季集中研修会」、高松中央RC主催の「早明浦ダム流域の下草刈り」、「高松大学・高松短期大学での職業指導懇談会」等への参加を通してロータリーへの理解、面白さを実感いたしました。

クラブ内では、各委員長さまに大変ご苦勞を頂き活気ある素晴らしいクラブ運営がなされたことに、本当に感謝申し上げます。

特に、プログラム委員会の藤田委員長には香川県の色々な情報を教えていただき、ありがとうございました。

今後の課題も沢山ありますが、ロータリアンの意識高揚を図りつつ進めていきたいと思ひます。

次年度はクラブ奉仕委員長（会長エレクト）として自分の立ち位置を忘れず、取り組んでいこうと思ひます。

そして最後に、事務局の鷺谷さまには大変お世話になり感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 高松南ロータリークラブ 2018-2019年度役員および理事名簿

会長	理事	篠田日出海
副会長兼会長エレクト	理事	高島 秀樹
幹事	理事	多田 耕三
副幹事		田中 理
SAA	理事	田村 禎啓
副 SAA		岩井 孝博 合田 弘朗

会計	理事	石川 徳尚
職業奉仕	理事	木田 一彦
社会奉仕	理事	林 幸稔
国際奉仕	理事	堀 祥二
青少年奉仕	理事	熊田 浩
直前会長	理事	岡林 正文
戦略計画		詫間 行芳
研修リーダー		吉田 茂

## 2018-2019年度委員会名簿

委員会	委員長	副委員長	委 員							
クラブ奉仕	高島 秀樹									
プログラム	増尾 茂之	藤田 徳子	堀 祥二	牟禮 昌忠	越智 繁彬	佃 昌道	上村 光男			
出席	秋山 俊二	向井 攻一	中川 一成	西野 信也						
会員増強・職業分類	今城 広治	三宅 弘	岡林 正文	乾 篤之						
会員選考・ロータリー情報	中村 秀明	宮脇 光男	細溪 英一	大橋 泰範						
会報・広報・雑誌	田中 弘之	詫間 行芳	増尾 茂之	多田 耕三	高島 秀樹					
親睦活動	岡 隆夫	平井 信一 白井 克彦 谷本 昌英	合田 弘朗 窪田 泰彦 新地 良洋	林 幸稔 森 敬介	堀川 満弘 中村 巖友	堀 一代 中村耕太郎	板坂 直樹 石井 孝典			
職業奉仕	木田 一彦	松本 周平	小野 兼資	田邊 正忠	山地 真人					
社会奉仕・環境保全	林 幸稔	宮本 敏樹	松木 リカ	佐藤 篤史						
国際奉仕	堀 祥二	太田 英章	岡 隆夫	渡辺 成剛						
ロータリー財団	岡 佳寿也	マスドソバハニ	田中 弘之	豊田 章二						
米山奨学	前田 恭典	森 恒弘	熊田 浩	山地 真人	林 哲也					
青少年奉仕・ローターアクト	熊田 浩	窪田 泰彦	吉田 茂							
SAA	田村 禎啓	合田 弘朗 岩井 孝博								
会計	石川 徳尚									
監事（会計監査）	長町 亘洋									
戦略計画	詫間 行芳	吉田 茂	太田 英章 高島 秀樹	豊田 章二 篠田日出海	前田 恭典 多田 耕三	熊田 浩 田中 理	岡林 正文			

## 2018年7月例会予定 2018~2019年度・テーマと運営方針+3:25

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	地区・分区・その他
1	4	12:30 ~13:30	JRホテルクレメント高松	2018-19 クラブ運営方針発表	7/6~10 短期交換学生受入 (会長・幹事・青少年奉仕委員会) 7/8 RAC提唱クラブ連絡会議 (香川大学)(国際奉仕委員会)
2	11	12:30 ~13:30	JRホテルクレメント高松	第3回クラブ協議会(5大奉仕委員長活動計画発表) ガバナー補佐訪問 香川第1分区 工藤達夫ガバナー補佐	
3	18	12:30 ~14:00	JRホテルクレメント高松	新会員卓話 新地良洋会員	定例理事役員会
4	25	12:30 ~13:30	JRホテルクレメント高松	各委員会毎活動計画討議	7/24 高松養護学校夏季集中研修 会協賛品贈呈式

## 2018年8月例会予定 会員増強・新クラブ結成推進月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	地区・分区・その他
5	1	12:30 ~13:30	JRホテルクレメント高松	新会員卓話 木村征司会員	

7月の誕生者  
~おめでとうございます~

豊田 章二(19日)、合田 弘朗(28日)、森 恒弘(30日)

## 5月出席率

例会日	正会員	出席免除	免除出席	出席数	欠席数	補填数	補正出席数	出席率
5月9日	60	14	8	38	11	5	43	79.6 %
5月16日	60	14	5	39	9	3	42	82.4 %
5月23日	60	14	7	38	12	7	41	77.4 %
5月30日	60	14	9	42	12	1	43	78.2 %
5月累計	240	56	29	157	44	16	169	79.40 %

## 編集後記

例会では国旗を掲げています。国旗の縦横の比率は平成11年に制定の法律では、縦が横の3分の2の長方形。日章の直径は縦の5分の3で中心は旗の中心と規定されています。特例として、明治の太政官布告(商船規則)の縦横比7対10、日章は旗の中心から旗竿側に横の長さの100分の1ずれた位置の旗も使えます。日章と白地のバランスとしては特例の方が安定しています。風にはためく時の見栄えは日章が旗竿に寄っている方が美しい、といわれています。この縦横の比率には有名な黄金比があります。黄金比(約5:8)はピラミッド、凱旋門、パルテノン神殿、モナ・リザといった歴史的建造物や美術品の中に美を見出すとされています。昨今では美容外科にも用いられ、身体において、足底からヘソまでの長さ、ヘソから頭頂までの長さの比が黄金比であれば美しいとされ、あるいは、目や鼻や口などの長さや間隔、細かな形態も黄金比に合致すれば美しいと宣伝などで謳われています。また、「黄金長方形」「黄金螺旋」の言葉もよく聞か

ます。ひまわりの種、オウム貝、かたつむりの殻などが例にあげられます。

一方、日本では昔から白銀比(1:√2というものがとても馴染み深く使われてきました。例えば、平安京の基盤の目状の都市や、法隆寺など、これらは「大和比」と称し、建造物に正方形を用いる木造建築から始まったと言われています。丸太を伐採し、断面が正方形の角材を切り出すのは、無駄を出さないことが理由です。円に内接する長方形の面積を最大にする形が正方形です、と数学、幾何、美学で教えられました。風呂敷、和用紙のサイズや畳や、法隆寺が正方形を基本とする理由も、その最適性と汎用性にあります。もっと言うと、日本における白銀比は美しさを表現する基準ではなく、日本人特有の物を大切に「もったいない」という感覚と合理性に基づいているのです。

こうした白銀比のペーパーに会長挨拶、幹事報告そして卓話・客話が記録されます。その記録の積み重ねが高松南RCの歴史となり、ロータリアン相互の絆に育まれていかせたいものです。(帰ってきた編集者)